

◆著者紹介

高良 沙哉 (たから さちか)

1979年沖縄県生まれ

北九州市立大学法学部法律学科卒業

同大学大学院法学研究科法律学専攻修士課程修了

同大学大学院社会システム研究科地域社会システム専攻博士後期課程修了(博士(学術))

2006年 大学兼任講師

2010年 沖縄大学人文学部福祉文化学科専任講師

現在 沖縄大学人文学部福祉文化学科准教授

主な著書・論文

『沖縄の脱軍事化と地域的主体性——復帰後世代の「沖縄」——』(共著) 明治大学軍縮平和研究所(2006年)

「従軍慰安婦裁判——原告の訴えるもの——」(単著) 沖縄大学法経学部紀要9号(2007年)

「在日米軍人による性的暴力の提起する諸問題」(単著) 沖縄大学法経学部紀要11号(2008年)

「戦後補償立法と被害者救済——いわゆる従軍慰安婦裁判を契機として——」(単著) 沖縄大学法経学部紀要14号(2010年)

「『慰安婦』訴訟の意義と課題」(単著) 沖縄大学地域研究所紀要地域研究13号(2014年)